

「縁」についての座談会

「縁は異なるもの味なもの」と申します。
そもそも異性間の関りを表す言葉ではありますが、昨今は「令縁奇縁」
理屈では説明できない縁があるということも、人の力を超えた人と人を
結びつける力として使われています。

転じて、物質的な意味での縁といえば「縁側」に代表される境界の
延長という非常に日本的なしつらえなど、インテリアを生業とする
プランナーには大変「縁」の深いキーワードでもあります。

巡り合わせの「縁」は運命を、血縁の「縁」は続柄を、仏教の「縁」は因縁を
それぞれが全く違った意味を持ちながら、それによって日本人の価値観の中に
刷り込まれ、至極当然のようにインテリアの要素として伝統的に
再現される「縁」まさに日本人にとっては「異なるもの味なもの」と言えるでしょう。
今回情報委員会では、この「縁」について、成り立ちの視点や空間の視点さらに
構成素材としての視点を交えて、パネル形式で座談会を開催させていただきます。

パネリストに

- 河田 克博 先生 (名古屋工業大学)
- 内藤 和彦 先生 (中部大学)
- 内藤 恵子 氏 (設計室ないとう)
- 雨宮 勇 氏 (有限会社 アスポ)

をお迎えして、それぞれの「縁」とのかかわりをお話しいただきながら
新たな発見が生まれることを楽しみにしています。

とき／令和二年三月四日(水) 午前十時～十二時
会場／川原田家住宅 (昭和区南山町二十五番)
参加費／無料

持ち主の、川原田^{かわらだ}さんはトヨセツトの社長で、中部デザイン協会会員です。
会場は名古屋市認定地域建造物資産のたいへん趣のある古民家で、
管理は奥様のみどり様がされています。

座談会後には場所を移して、食事会を計画しております。
会員の皆様も是非この座談会にご参加ください。

主催／中部インテリアプランナー協会 情報委員会 (高須・木辺・柳・舟橋)
お問い合わせ・お申し込み／メールにて事務局まで (受付締切／二月二十九日)

